

知って!

定置網 + 張網

「定置網」には、サケやマスなど表層にいる魚を獲る「浮定置網」と、ヒラメやタイなど海底にいる魚を獲る「底定置網」があります。

この冊子では、表面に詳細な構造図と裏面に庄内浜全域に設置されている「定置網」と「張網」の位置を航空マップを使用し、わかりやすく記載しております。安全航行にご活用下さい。

※「張網」: 底定置網と似た構造のもの

海は、漁業者にとってかけがえない生産活動の場です。安全にルールを守って遊漁や海洋レジャーを楽しみましょう。



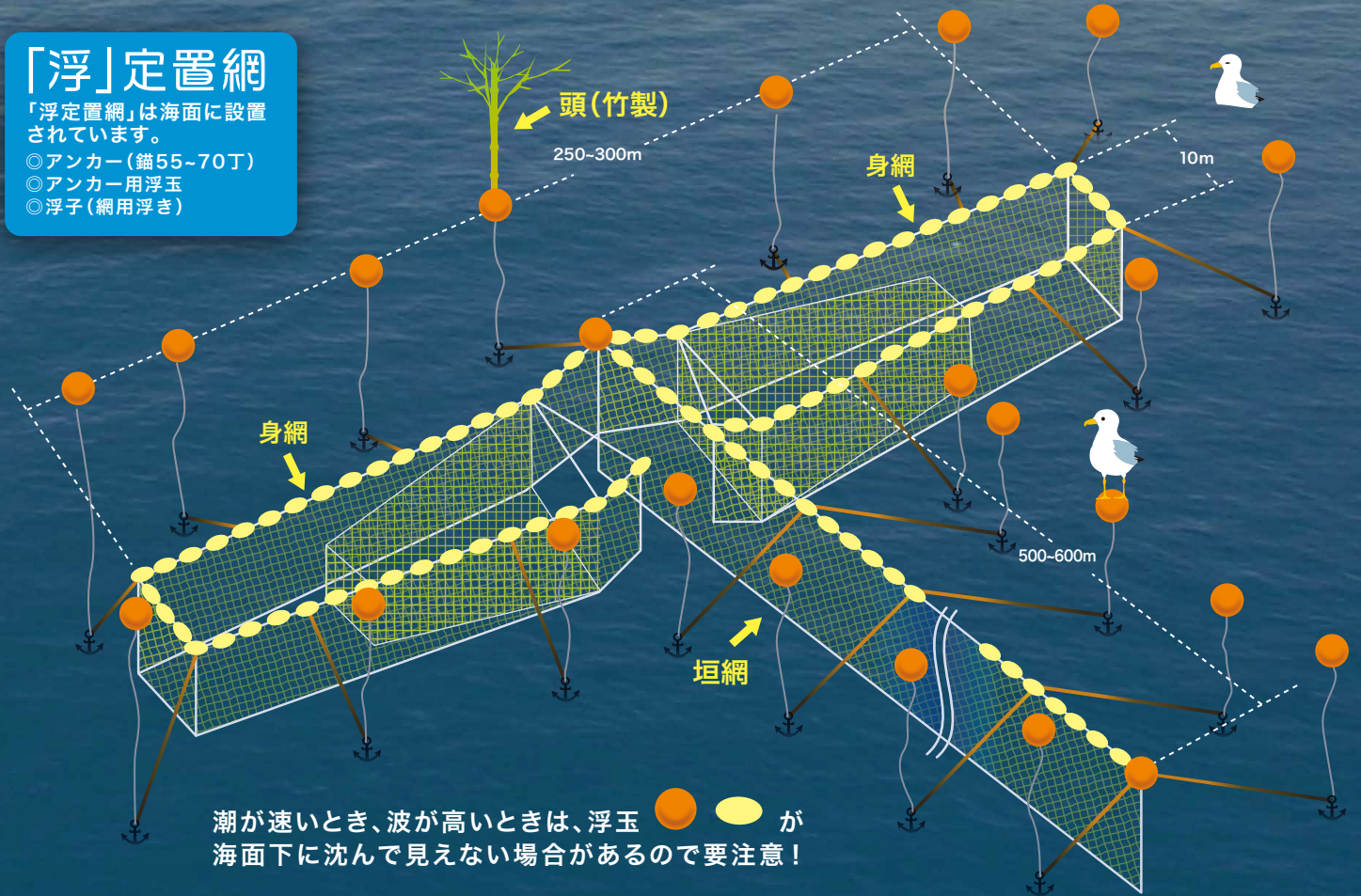
漁具の構造を知ろう!

プレジャーボートの航行時や遊漁時の事故防止、漁具被害防止に努めましょう。

「浮」定置網

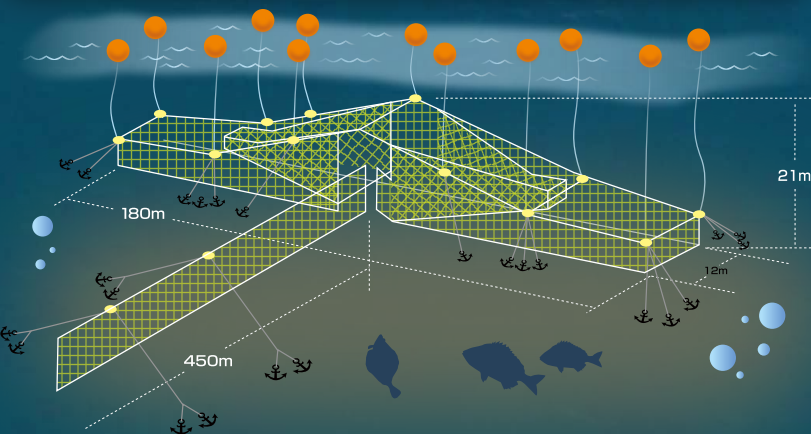
「浮定置網」は海面に設置されています。

- アンカー (錨 55-70丁)
- アンカー用浮玉
- 浮子 (網用浮き)



潮が速いとき、波が高いときは、浮玉が海面下に沈んで見えない場合があるので要注意!

「底」定置網 「底定置網」は海底に設置されています。



山形海区漁業調整委員会指示で**小型定置漁業の保護区域**が定められています。

保護区域内において定置漁業以外の漁業・遊漁その他の行為によって魚道を遮断し又は魚群を散逸せしめる行為及び保護区域内外において漁具を利用して船を固定するなど、漁具に接触する行為は**禁止**されています。

〈保護区域〉

◆さけ・ぶり小型定置(本冊子記載の定置)

「垣網の左右200m及び身網の周囲100m以内の海面」(詳しくは山形海区漁業調整委員会HPに記載)

定置網によっては保護区域外にも漁具(浮玉)が設置されている場合があります。